



学校便り きらきら天妃っ子



那覇市立天妃小学校

10月号② 令和5年10月16日
校長 平良 その子

二学期スタート

まだまだ暑さは残るものの、朝晩と涼しくなり、「秋」を感じられるようになりました。

二学期は、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、行楽の秋などと言われるように、本校でも、運動会、音楽発表会、読書月間、秋の校外学習等があります。

運動会に関しましては、お知らせ文書でも通知した通り、10月29日（日）、4年ぶりに全学年揃っての開催となります。運動場の整備がまだされていないことから、今年度も、上山中の運動場をお借りしての運動会となります。大変お忙しい中ではありますが、子供達一人一人の一生懸命頑張る姿、輝く姿を保護者の皆様にご覧いただきたいと思っております。

本学期も、子供たちが学習や行事などを通して、一段と成長できることを期待しています。

二学期始業式

始業式の校長講話で次のことを子供達に伝えました。保護者の皆様とも共有したいと思います。

- 「目標の実現に向けて努力する」・・・努力して結果が出ると自信になり、努力せずに結果も出ないと後悔が残り、努力して結果が出ないとしても経験が残る（努力した分の力は確実につく）ことから、自分の目標に向かって実現できるように頑張ってもらいたい。
- 「あきらめずに最後までがんばる」・・・二学期の大きな行事「運動会」や「音楽発表会」に向けて、途中であきらめずに最後まで頑張ってもらいたい。「みんなで力を合わせること」、「心一つにして仕上げること」の大切さなど、たくさんのことを学んで、心も体も成長してほしい。
- 「言葉を大切にして仲間と成長できるクラスにする」・・・人は自分とは違ういろんな人と関わることで、人としてのやさしい心、思いやりの心等が育ったり、いろいろな考えに気付いたり、考えが深まったりするなど、大きく成長するための勉強をさせてもらっている。クラスの仲間を大切にして仲間の良さをたくさん見つけて多くのことを学んでほしい。プラスの言葉が溢れる教室にして、やさしい言葉と思いやりの心が行動に表れることを期待している。

～読み聞かせ「ねこがわらった」（作：久保 喬 出典：「ゆたかなこころ」光文書院）～

人は誰しも、強い心だけではなく、弱い心も持ち合わせている。「してはいけない」と知りつつも、してしまうこともあるかもしれない。しかし、その過ちを改めて、自分の意思で正しい行動を行う力と自分を律する力が必要である。

その力と心が天妃っ子一人一人に育ってほしい。

旧校舎解体工事説明会

去る10月6日（金）、保護者と地域の皆様を対象とした、旧校舎の解体工事説明会が行われました。本説明会では、那覇市教育委員会より、工事の日程と概要についての説明があり、令和5年10月からアスベスト除去工事、令和5年12月中旬から解体工事がされるということでした。

説明会では、工事期間中の工事車両の通行による安全管理や工事の騒音、粉塵等についてのご質問があり、市教委より、安全見守り作業員の配置、工事現場の周囲を囲うシートの使用等で対応されるなどの回答がありました。学校としましても、騒音等による学習への支障が無いよう、工事中の空調機の使用等を行います。また、その都度、市教委及び業者との連絡調整等を行ってまいりますので、気になることがございましたら遠慮無くご連絡をお願いいたします。

なお、運動場整備については、解体工事の終了後、令和6年4月～令和7年3月までとなっております。また、全ての工事が終了後、改めて落成式を行う考えでおりますので、予めご了承ください。